



令和6年度稲城市教育委員会児童・生徒表彰

教育委員会では、人命救助、学術・文化・スポーツ活動において、著しい成果を収める等の功績があった児童・生徒に表彰を行っています。令和6年度は53人・3団体に表彰を行い、令和7年3月11日(火)に実施された表彰式では、教育長より一人ひとりに表彰状を授与しました。



令和6年度表彰者(個人)



令和6年度表彰者(個人)



令和6年度表彰者(団体)

Table with 4 columns: 学校名, 学年, 児童・生徒・団体名, 表彰内容. Lists 53 individuals and 3 groups with their respective achievements.



市ウェブサイト(児童・生徒表彰)

*学年は表彰当時のものです。*掲載に同意いただいた方のみ公開しています。

お詫言と訂正 稲城市の教育「イエール」3月15日号1面で、下段の「第17回稲城市立小・中学校合同展覧会を開催しましたの見出しで誤りがございました。お詫言して訂正いたします。

教育長コラム

No.09



稲城から世界へ！
「グローバルスタディ」の推進

「稲城市の子ども達に、次代に活躍する力を付けてほしい」と令和5年3月の就任以来、私が常に抱いてきた思いです。

今号では、この実現を目指した令和6年度までの取組と、その中で得た視点に基づく令和7年度の教育施策について、お伝えします。

発信力の向上

本市立学校では、長年、ESD(Education for Sustainable Development)「持続可能な開発のための教育」推進を教育活動の柱とし、「環境」「国際理解」「人権」「防災」等を題材とし、地域の方々の温かいご指導ご支援をいただきながら、体験活動や探究活動を通じた学習に取り組んでまいりました。さらに近年は、SDGs(Sustainable Development Goals)「持続可能な開発目標」達成のための資質を培うことを主眼に据え、さらなるESDの充実を図っているところ

です。学校における教育活動は、これからの社会を担う子ども達を育成するとの使命から、社会情勢を見据えながらアップデートしていくことが重要です。ESDにつきましても、教育委員会では、常に時代に即した取組方法の開発について研究してまい

りました。

このような経緯の中で、令和6年度、稲城市は、一般財団法人ピースコミュニケーション団との共催により、「国連を支える世界子ども未来会議 in INAGI」を初開催しました。実施当日の8月30日、各小学校から選出された第6学年児童2名ずつ、計24名の子ども達が、地域振興プラザ内会議室に集

合、異なる学校の初対面同士、4人ずつのグループを組み、「住み続けられる未来の稲城市」をテーマに意見を述べ合い、グループごとに考えをまとめ、その後、市議会本会議場に会場を移し、各グループのプレゼンテーションを行いました。

「議場」という場での発表・質疑応答という体験は、子ども達にとり、自らが社会を動かす原動力になっていくという志向を高める貴重な機会だったと思います。そして、教育委員会でも、この新たなチャレンジにより、今後の本市ESD充実に

向け、自ら何が出来るかについての考察、個の考えの確立、多様な相手に対しての発信力、さらに教室に限らず多様な場での発言力等、新たな方策の有効性を見出すことができました。

その後の令和6年度後半、各学校では、秋季や冬季の学芸的行事等、様々な教育活動において、児童・生徒が自らの制作物や体験活動について、説明やプレゼンテーション、ポスターセッションを行うなど、個々の発信力が披露される場面が見られました。私は、それら一つ一つの取組について、「持続可能な社会の創り手」となる資質が確実に培われているとの意義を確信してきたところです。このよ

うな取組を継承発展し、令和7年度、さらなるESD充実を目指してまいります。

英語力の向上

これからの時代は、世界規模の視点から社会課題を捉え、多様な人々と協働連携する姿勢と力が大切です。稲城市の子ども達には、世界の人と自信をもって渡り合えるスキルとコミュニケーション能力を培ってほしいと願っています。

私は、この数年の間に、アメリカとフィンランドの教育施設を訪ねる機会を得ました。その際、アメリカでは当然のことながら、英語を母語としないフィンランドでも、英語を流暢に操る現地の方々と対面し、訪問趣旨である教育論・教育観を即座に語り合うことができず、「英語弱者」であることは何と不利なことかと、痛感しました。そのような苦い体験を経て、その後、教育長となり、稲城市の子ども達に目を向けますと、今度は、一つの希望を見出しました。

令和5年7月、姉妹都市・フォスターシティ市のサッカーチームのメンバーをお迎えした本市の児童・生徒が、英語とジェスチャーを交えながら、国際的なアーティストの話題や、昔遊び、スポーツ等を通し、笑顔で伸び伸びとコミュニケーションをとっているのです。

そのような子ども達の姿に後押しされ、令和6年度、まず、中学生が日常生活の中で外国人と触れ合う機会を充実しようとして、東京外国語大学大学院を中心とした外国からの留学生による学校訪問の機会を設定、生徒と留学生が気軽に会話するなど

の交流活動を始めました。各中学校では、留学生の方々から、まだ見ぬ国についての魅力的な物語を聞かせていただいたり、

中学生からも校外学習や職場体験での学びについて留学生に説明したりするなど、工夫した取組を展開くださいました。

そのような成果を確認しながら、教育委員会では、校長・副校長先生方にも同行いただき「英語先進地域」と言われる自治体の視察等、研究を重ね、令和7年1月には外国自治体との教育交流協定を締結、さらに、令和7年度は、ALT(外国語指導助手)を増員し、市の第1種会計年度任用職員として採用、加えて、生徒と講師との「対一」のオンライン英会話の機会を作ることにしました。ALTは、勤務日には、一日7時間30分在校します。その時間の中で、コミュニケーションが苦手な児童・生徒も、また、オンライン等を活用し在宅でも、全ての子ども達が英語によるコミュニケーション活動に取り組めることを目指しています。

「グローバルスタディ」の推進

このようなESDと英語教育の新たな充実を計画していた令和6年度末、Tokyo Innovation Baseにて、「国連を支える世界子ども未来会議」の全国大会が開催されました。参加者は、全国各地の大会での代表児童及び世界各国から参加した子ども達、計96人。本市からも、昨年8月に実施した「in INAGI」(稲城大会)にて最優秀グループとなった、当時市立小学校第6学年の児童4名が代表として参加しました。子ども達は、稲城大会と同じく、初対面同士のグループを編成し、「気候変動への対策」及び「平和と公正」をテーマに、その実現のための方策について話し合い、発表パネルにまとめ、プレゼンテーションを行いました。

日本語と英語が飛び交う会場、地域を越え国境を越え、「環境」「平和」という社会課題についての協議、熱気溢れる会場は、まさに「国際会議」です。彼ら彼女らが、これから大人に成長し、国際舞台で英語を共通語として駆使しながら活躍する姿が目に映えてくるよう、改めて、稲城の子ども達に、持続可能な社会づくりの方策を探究し、言葉の壁を乗り越えて自らの考えを多様な相手に発信する機会を充実させていきたいとの思いを強くしました。

令和7年度、教育委員会は、「稲城から世界へ！グローバルスタディ」の推進をキャッチフレーズに、発信力に重点を置いたESDと、英語力向上に、取り組んでまいります。保護者、地域の皆様も、そのような子ども達の姿を見守ってくださいませようお願いします。また、ALTによる授業以外の取組・イベントも企画いたします。稲城市教育委員会教育長 杉本真紀子

第四次稲城市教育振興基本計画を策定しました

稲城市では、令和7年度から令和11年度までを計画期間とした、「第四次稲城市教育振興基本計画」を策定しました。

本計画は、これまでの取組を受け継ぎつつ、社会の変化に対応しながら今後の本市における教育施策をより実効性のあるものとなるよう、策定しております。

施策の柱として「家庭や地域における学びの推進と連携」「『未来を創造し生きぬく力』の育成の推進」「市民の生涯にわたる学習活動の振興」の3つの柱を掲げ、本市が進めてきた、すべての市民が参画する教育の推進をさらに図ってまいります。

また、重点として、「ウェルビーイング」の実現、「グローバル」の時代に活かされる力の育成を目指して、様々な施策を取組・事業例として掲げており、一つの取組を他事業と連動させながら、総合的に子ども達の成長を図るとともに、市民の学びの充実を実現する構想をもち、取り組んでまいります。詳細は市ウェブサイトをご覧ください。



市ウェブサイト

問合せ 教育総務課教育総務係

ランドセルカバーを寄附いただきました

令和7年度始めに、市立小学校新入学児童へ、東京ヴェルディ株式会社からランドセルカバーを寄附いただきました。今回で6回目の寄附となるランドセルカバーは、東京ヴェルディ公式マスコット「リヴェルン」と稲城市イメージキャラクター「稲城なしのすけ」がコラボレーションしたデザインです。

稲城市の子ども達の交通安全対策、安全意識を高めるとともに、稲城市をホームタウンとする東京ヴェルディ応援の気運向上を図り、新入学児童にお渡しいたしました。

問合せ 学務課学務係



ランドセルカバー贈呈式を味の素スタジアムにて実施いただきました



ランドセルカバーをつけて通学する児童

北海道大空高等学校 学校説明会を開催します

稲城市の姉妹都市「北海道大空町」の町立高校「北海道大空高等学校」が6月20日(金)夕方に説明会を開催し、大辻雄介校長がお話しくくださいます。詳細は市ウェブサイトをご覧ください。

問合せ 教育総務課教育総務係



市ウェブサイト

稲城市立小・中学校の校長・副校長 (令和7年4月1日現在)



市ウェブサイト
(学校紹介)

学校名	校章	校長名	副校長名
小学校			
稲城第一小学校		高垣 大介	高橋 達也
稲城第二小学校		中谷 勝行	千葉 恵美子
稲城第三小学校		小林 洋之	栗木 勇
稲城第四小学校		高橋 裕之	石戸 ますみ
稲城第六小学校		加藤 正人	小出 宏之
稲城第七小学校		黒澤 敦史	米山 珠理
向陽台小学校		鈴木 浩之	志村 光太郎
城山小学校		安藤 みはる	松本 正尊
長峰小学校		壺井 智裕	井上 真一

学校名	校章	校長名	副校長名
若葉台小学校		関 拓也	遠藤 昌志
平尾小学校		福田 章人	長江 理
南山小学校		山本 美早	堀口 剛
中学校			
稲城第一中学校		猪瀬 政幸	高城 由貴子
稲城第二中学校		杉本 ひとみ	小林 孝夫
稲城第三中学校		中野 広孝	石原 春彦
稲城第四中学校		橋 太造	山下 正美
稲城第五中学校		小林 淳一	笠井 淳子
稲城第六中学校		恵方谷 雄二	加藤 雄一

教育ボランティア募集中

市立小・中学校では、「教育ボランティア」を募集しています。多様なスキルや経験をお持ちの皆さんのバックアップにより、子ども達の学習環境をより充実させることを目指しています。学生・大学院生による学習支援ボランティアも大歓迎です。

募集内容

学習支援	図書整理・読み聞かせ	環境整備支援 (花壇整備等)
クラブ活動・部活動	校外健全育成活動 (登下校の見守り、挨拶運動)	日本語指導が必要な児童生徒への支援
介助を要する児童生徒への支援	水泳指導補助*	タブレット入替作業補助

※1時間1,250円の有償ボランティア

詳細は市ウェブサイトをご覧ください。



市ウェブサイト

▷問合せ 指導課指導係

新しいALTを紹介します

稲城市では、令和7年度よりALT(Assistant Language Teacher)を2人増員し、6人体制で各小中学校に配置いたしました。また、稲城市の「第1種会計年度任用職員」として採用したことにより、本市に専従するとともに、各学校に一日7時間30分在籍することができるため、授業以外の時間でも幅広い教育活動を行うことができるようになりました。

稲城市では、英語力のさらなる向上を図るとともに、多様な場面での発信力の育成について取り組んでいくことにより、主体的に对话をする姿勢とスキルを向上させていきます。



Alice JJ Rigene 杉本教育長 Jell Leen Jo

自己紹介

■Alice(担当校：稲城第三小学校、向陽台小学校、稲城第一中学校)

Hello! My name is Alice. I'm excited to have fun conversations with all the students and teachers. Let's create a positive experience learning English both inside and outside the classroom! アリスと申します。生徒・児童の皆さんや先生方と楽しくお話できるのが楽しみです。教室の中でも外でも、英語を学ぶ素敵な体験を一緒に作っていきましょう!

■JJ(担当校：稲城第一小学校、稲城第六小学校、稲城第五中学校)

Hello! My name is JJ. I am looking forward to working with you all. I am excited to create great moments and experiences together with all the teachers and students. ジェイジェイです。皆さんと一緒に活動できるのを楽しみにしています。先生方や生徒・児童の皆さんと、素晴らしい時間や経験を一緒に作っていただければ嬉しいです。

■Rigene(担当校：長峰小学校、若葉台小学校、稲城第六中学校)

My name is Rigene, and I am looking forward to working here as an ALT and helping students improve their English communication skills. リジーンと申します。ALTとして働けることを楽しみにしています。生徒・児童の皆さんの英語でのコミュニケーション力向上をお手伝いできるよう頑張ります。

■Jell(担当校：稲城第二小学校、平尾小学校、稲城第二中学校)

Hello, I'm Jell. I am looking forward to having English classes with you all. Let's have fun learning English. It will be a great experience, for sure. ジェルです。皆さんと一緒に英語の授業ができるのを楽しみにしています。楽しく英語を学びましょう!きっと素敵な経験になりますよ。

■Leen(担当校：稲城第四小学校、稲城第七小学校、稲城第四中学校)

Good day! My name is Leen and I am looking forward to providing support to students in English in the most comfortable and fun way possible. We got this! リーンと申します。生徒・児童の皆さんが楽しく、そして安心して英語を学べるようにサポートしていきたいと思っています。一緒にがんばりましょう!

■Jo(担当校：城山小学校、南山小学校、稲城第三中学校)

My name is Jo. I am looking forward to talking with all of the students and making fun memories with them in class. ジョーと申します。クラスで皆さんとお話したり、楽しい思い出を作ったりするのを楽しみにしています。

▷問合せ 指導課指導係

学校支援員募集中

市立小・中学校では、教員を補佐し、児童・生徒の学校生活をサポートして下さる方を募集しています。

①特別支援指導補助員

小・中学校の通常学級に在籍する特別な支援を要する児童・生徒の学習支援や学校生活の支援を行います。

②介助員

小・中学校に設置する特別支援学級の児童・生徒の学校生活の支援を行います。

③教育補助員

小学校において担任教員の指示を受け、児童の個に応じた指導を行い、学力の向上を図ります。

④学校図書館活性化推進員

中学校図書室の司書業務のほか、学校の司書教諭と協力して、授業に合わせて図書を選定し、準備します。

⑤エデュケーション・アシスタント

小学校において第1学年から第3学年の児童を対象に副担任相当の業務を行います。

詳細は市ウェブサイトをご覧ください。



市ウェブサイト

▷問合せ 指導課教職員係

第5回国連を支える世界子ども未来会議に参加しました

令和7年3月23日(日)、Tokyo Innovation Base(有楽町)で開催された「第5回国連を支える世界子ども未来会議」(主催：一般財団法人ピースコミュニケーション財団)に稲城市の代表児童4名が参加いたしました。

小学4年生から6年生の約96人の世界の子どもが集まり、SDGs学習、ワークショップをとおして、平和で豊かな世界について考えました。

ワークショップでは、初めて会った子ども達が、8人×12グループになり、「SDGs.13気候変動に具体的な対策を」「SDGs.16平和と公正をすべての人に」をテーマに、自分の考えを発表し合いました。その後、プレゼンテーションシートにアイデアをまとめ、すべてのグループが日本語や英語でプレゼンテーションを行いました。

当日は、高橋市長もスペシャルスピーカーとして参加し、発表グループに対して講評しました。

プレゼンテーションの後は、子ども達がアーティストと一緒に歌う音楽セッション、参加者全員でのフォトセッションがあり、多様なプログラム満載の充実したイベントでした。



▷問合せ 指導課指導係

INAGI科学実験教室を開催しました

令和7年3月22日(土)、令和7年3月29日(土)の2日間に渡り、稲城市在住のサイエンティストである2名の講師をお迎えし、INAGI科学実験教室を城山体験学習館で開催しました。両日も、市内外の約30人の子ども達と保護者の方々が参加されました。

1日目は、「はてな博士」こと、井垣 誠吾 先生が「自転車ジャイロ実験」として、身近な自転車の車輪を使った実験を行いました。子ども達は、実際に回転する車輪を手にする事で、自転車が2輪で走行するにあたり、どうして倒れずに進むかを体感することができました。

2日目は、「ゆうこ博士」こと、網蔵 優子 先生が「フィルムロケット実験」として、フィルムケースの中に、水と薬品を入れることで、気圧を発生させ、空中に打ち上げる実験を行いました。子ども達は、どうすればより高く飛ぶかを試行錯誤し、水や薬品の量を調整しながら、楽しんで実験に取り組んでいました。



▷問合せ 指導課指導係



教育委員会の動き

第3回定例会 3月19日

1. 教育行政報告
2. 議案(可決)

令和7年度稲城市教育委員会職員の仕事について、稲城市教育委員会事務局処務規則の一部を改正する規則、稲城市立小・中学校学校医等(令和7年度)の委嘱について、稲城市立小・中学校学校運営協議会委員(令和7年度)の任命について、稲城市社会教育委員(令和7年度及び令和8年度)の委嘱について、稲城市立公民館運営審議会委員(令和7年度及び令和8年度)の委嘱について、稲城市文化財保護審議会委員(令和7年度及び令和8年度)の委嘱について、報告事項

第4回定例会 4月14日

1. 教育行政報告
2. 議案(可決)
3. 議案(承認)

稲城市立小・中学校学校運営協議会委員(令和7年度)の解任及び任命について、稲城市社会教育委員(令和7年度及び令和8年度)の委嘱について、議案(承認) 専決処分承認を定めることについて(令和7年4月1日付稲城市立小・中学校学校運営協議会委員に任命する者の一部変更)

▽問合せ 教育総務課教育総務係

【ご案内】令和8年度小・中学校に入学するお子さんの就学相談

お子さんの発達面、または小学校・中学校生活への不安や疑問等、相談したいことはありませんか？

稲城市では、就学に関する様々なご相談に応じています。専門の相談員がお話を伺い、お子さんに合った就学先に向けて一緒に考えます。

【相談内容の例】

- ・発達の遅れが気になる ・集団生活に馴染めるか心配
- ・学習についての不安 ・発音や話し方等、ことばに関する心配
- ・その他、就学に関する様々なこと

【対象】

- ▷都立特別支援学校または市立小学校の特別支援学級への就学、特別支援教室への入室、言語・難聴通級指導教室への入級をお考えの保護者
- ▷都立特別支援学校または市立中学校の特別支援学級への就学、特別支援教室への入室をお考えの保護者
- ▷その他、お子さんの発達や就学に関わるご心配がある保護者

【相談方法】

相談窓口と日時は下記のとおりです。まずはお電話をしてください。

【稲城市 就学相談窓口】

特別支援教育相談室(ふれんど平尾4階)

電話番号：042-331-7302

受付時間：平日 午前9時から午後4時半まで

※就学相談の申込み期間 5月20日(火)～10月31日(金)

但し、転学相談や特別支援に関するご相談は、随時受け付けています。

就学相談説明会

日時：5月19日(月)午前9時半から(年長保護者) 午後1時から(小学6年生の保護者)

場所：地域振興プラザ4階

申込み：QRコードからお申込みください。



就学相談説明会 申込フォーム

▽問合せ 指導課教育センター係

就学相談の進め方とスケジュール

電話申込み 042-331-7302 相談員との面談の日程を決めます

就学相談員との個別面談

必要書類を持参のうえ、特別支援教育相談室へお越しください。

各種検査

発達検査等結果を提出してください。

在籍園・在籍校への訪問

就学相談員が在籍園を訪問して、お子さんの参観をさせていただきます。

就学支援委員会での検討

指定の日時・会場に、お子さんと一緒にお越しください。就学支援委員会の委員が集団での行動や個別での様子を見させていただきます。この様子を参考に、幅広い視点からお子さんにふさわしい就学先を検討します。

判断結果のお知らせ

就学支援委員会での判断結果をお知らせします。必要に応じて面談を行います。

回答書の提出をお願いします

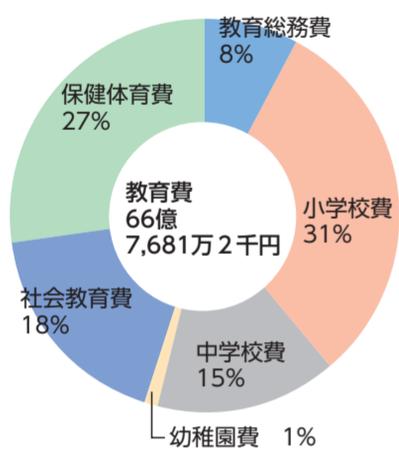
就学先の決定

お子さんの障害や発達の状況、保護者の意向も尊重しながら、決定します。

令和7年度 教育委員会の予算について

令和7年度教育費の予算は、稲城市一般会計予算460億5,300万円のうち約14.5%の66億7,681万2千円です。

令和7年度教育費予算



教育総務費 5億2,928万円

教育委員会、教育委員会事務局及び小中学校の教育指導等に要する経費

小学校費 21億426万2千円

学校の運営、学校施設の整備等に要する経費

中学校費 10億890万4千円

学校の運営、学校施設の整備等に要する経費

幼稚園費 4,764万4千円

幼児教育振興に関する経費

社会教育費 11億9,338万3千円

公民館や図書館、iプラザの運営や文化財保護等に要する経費

保健体育費 17億9,333万9千円

体育施設の管理、スポーツ推進事業等に要する経費

令和7年度は、稲城市立小中学校における英語教育の向上事業のほか、稲城第二小学校校舎増築工事や稲城第三小学校校舎建替工事を実施します。

新規事業

事業
災害時における建物確認用ヘルメットの購入

レベルアップ

事業
稲城市立小中学校における英語教育の向上事業
GIGAスクール構想第2期に向けたタブレット端末の整備

普通建設事業

事業
稲城第二小学校校舎増築工事
稲城第二小学校特別教室空調設備設置工事
稲城第三小学校校舎建替工事
向陽台小学校体育館バリアフリートイレ設置工事
稲城第五中学校体育館屋上防水改修工事
中学校特別教室空調設備設置工事
学校給食共同調理場第一調理場植栽工事
学校給食共同調理場第二調理場 スチームコンベクションオープンの更新
中央文化センター4階東側空調設備改修工事

給食で使用する野菜の調理

4月14日(月)の献立はポークカレーと大根サラダ。今回は大根サラダに注目します。

大根は納品された後に皮を剥き、3回水で洗浄します。学校給食では加熱食材を提供するため、スライサーで切裁した後、蒸気釜で茹でます。その後、真空冷却機で冷やし、ドレッシングを和えて完成です。



①大根の皮を剥く



②大根を洗浄する



③スライサーで切裁する



④蒸気釜で茹でる



⑤真空冷却機で冷やす



⑥冷却後、ドレッシングを和える

▽問合せ 学校給食課第一給食係